

① 停車駅【日光（栃木県）】1日目

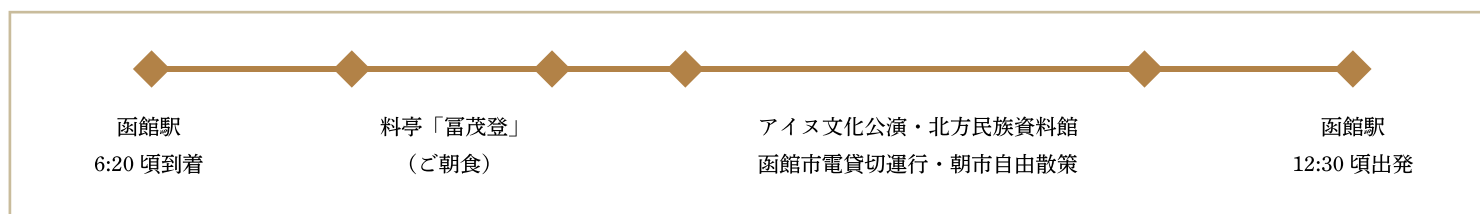


日光東照宮・日光駅

天下泰平の世を築いた徳川家康を祀る世界文化遺産、日光東照宮にて「TRAIN SUITE 四季島」のお客さまだけの特別コースで拝観し、旅の安全を祈願します。

また、日光駅では貴賓室や、漆喰の壁とシャンデリアの美しいかつての一等待合室「ホワイトルーム」などを見学し、ご出発までのひと時をお過ごしいただきます。

② 停車駅【函館（北海道）】2日目



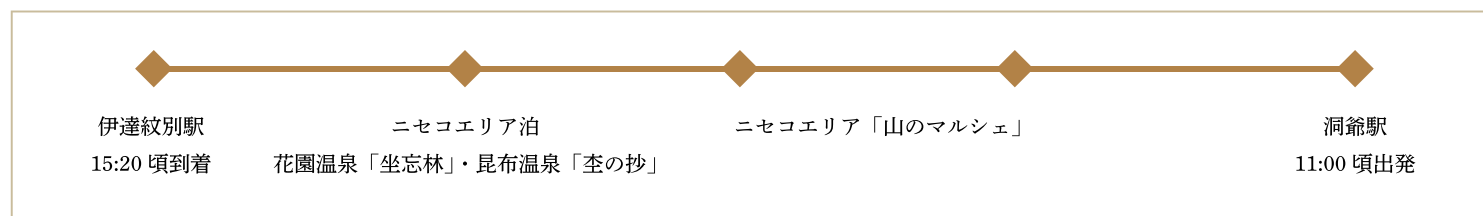
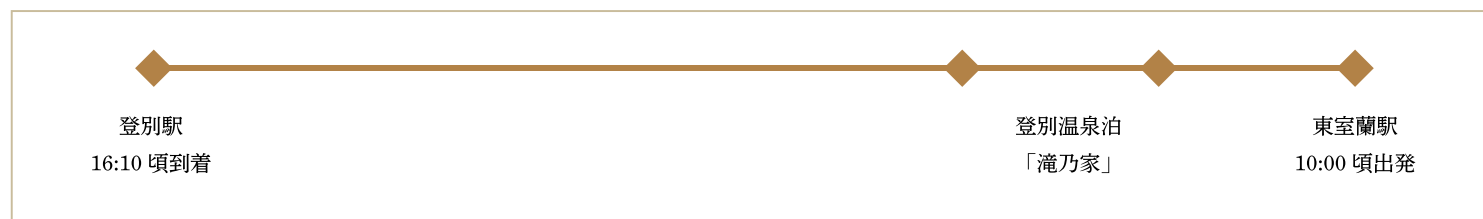
料亭「富茂登（ふもと）」でのご朝食 アイヌ文化公演と北方民族資料館の見学 函館市電の貸切運行・函館朝市自由散策

縄文時代から津軽海峡を挟み青森との交流が盛んだった函館。北からは北方民族のさまざまな文化が入ってきました。そして1854年、ペリー来航により日本の玄関口として発展していきます。先住民アイヌが大切に守ってきた文化と、国際都市へと花開いた函館の歴史絵巻をガイドの解説で巡ります。

その後、函館駅までは「TRAIN SUITE 四季島」のお客さま専用に関館市電を貸切運行いたします。函館駅到着後は、函館朝市をご自由に散策いただきます。

③ 停車駅【伊達紋別・登別（北海道）】2日目／【東室蘭・洞爺（北海道）】3日目

※お選びいただく宿泊地により訪問先・メニューが異なります。



ニセコエリア「山のマルシェ」(ニセコエリア宿泊のお客さま)

“本当に気持ちいいキャンプ場” 日本一に認定されたことのあるニセコサヒナキャンプ場にて、ニセコエリアで育まれた旬な農作物をはじめとした特産品を、生産者の声を聞きながらご試食いただきます。

④ 停車駅【青森（青森県）】3日目 ※縄文コース

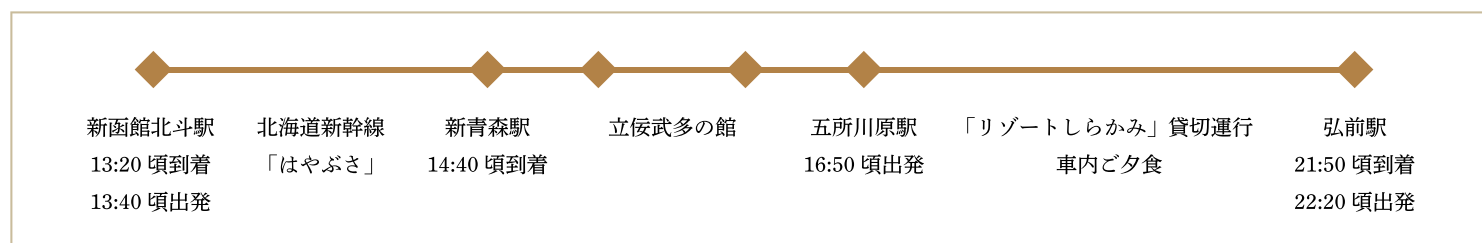


三内丸山遺跡（さんないまるやまいせき）・青森県立美術館「4匹の猫」でのご夕食

縄文時代に多くの生活の基盤が築かれていた青森。当時の建物を再現した遺跡の中で、五千年の時空を超えた古代ロマンを「TRAIN SUITE 四季島」スペシャルプログラムでご体験いただきます。

ご夕食は巨匠シャガールが描いた巨大な舞踏会背景画を所有する青森県立美術館内で、芸術家に因んだメニューを展開している「4匹の猫」にて、八甲田山麓の「HOTEL Jogakura」で腕を奮う川口シェフによる青森フレンチをお楽しみいただきます。

⑤ 停車駅【新函館北斗（北海道）・弘前（青森県）】3日目 ※五能線コース



北海道新幹線乗車・立佞武多（たちねぶた）の館見学 「リゾートしらかみ」貸切運行と車内でのご夕食

新函館北斗～新青森間を北海道新幹線「はやぶさ」に乗車、「TRAIN SUITE 四季島」との青函トンネル乗り比べをお楽しみください。

五所川原では、高さ 23 メートルの雄大な立佞武多を間近でご覧ください。また、五所川原～弘前間は JR 東日本のリゾート列車のさがけ「リゾートしらかみ」を貸切運行いたします。流れる車窓の景色とともに、弘前のイタリアン「オステリア・エノテカ・ダ・サスィーノ」笹森シェフによる前菜に続き、秋田の和食「日本料理たかむら」高村氏が提供する夕食（お弁当）で、東北の奥深さをご堪能いただきます。

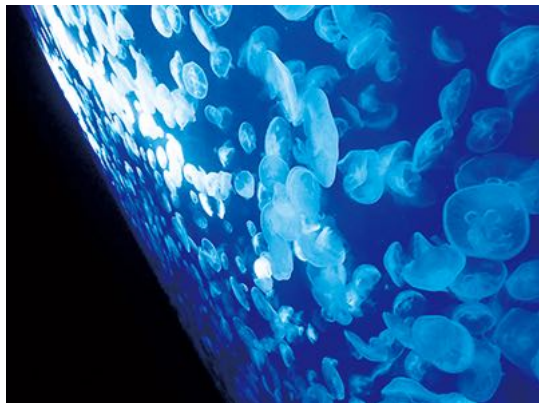
⑥ 停車駅【鶴岡・あつみ温泉（山形県）】4 日目

鶴岡駅
5:20 頃到着

あつみ温泉駅
6:00 頃到着

- ① 早朝の加茂水族館「クラゲドリーム館」（鶴岡駅下車）
 - ② あつみ温泉「萬国屋」での朝風呂ご入浴（あつみ温泉駅下車）
 - ③ 日本三大古代織り「しな織布」づくり見学（あつみ温泉駅下車）
- ※ 3 つの中から選択、「TRAIN SUITE 四季島」車内滞在もできます。

あつみ温泉駅
7:30 頃出発



目覚めと共に～「庄内・3 つのつとめて」

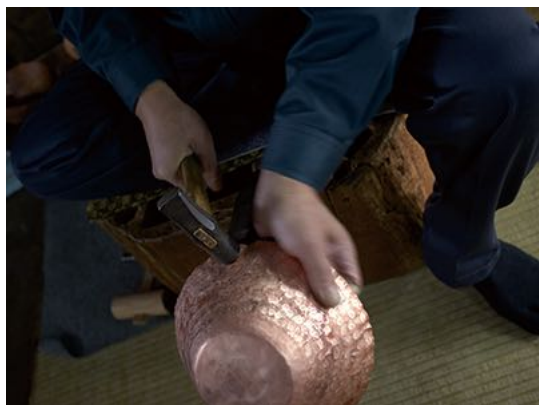
早朝、目覚めると列車は山形県・鶴岡駅です。幻想的なクラゲがふわふわと漂う加茂水族館、古くは松尾芭蕉はじめ多くの文人が訪れたあつみ温泉での朝風呂ご入浴、木の皮の繊維を糸にして織る日本三大古代織りのひとつ「しな織」制作工程のご見学からお好みのコースをご選択いただけます。「TRAIN SUITE 四季島」で目覚めた朝を、庄内の朝の空気とともに楽しめてください。

⑦ 停車駅【新津・東三条（新潟県）】4 日目

新津駅
9:30 頃到着

「玉川堂」鋳起銅器工房見学

東三条駅
12:30 頃出発



燕（つばめ）・玉川堂（ぎょくせんどう）にて日本の匠の技に触れる

ノーベル賞授賞式のパーティーに用いられるカトラリーを始め、世界的に有名な銀食器などを生産する匠の町、新潟県燕市。玉川堂は約 200 年にわたり金鋳で銅を叩いてつくる「鋳起銅器（ついきどうき）」の技を、風雪厳しいこの地で守り続けてきました。旅の最終日最後下車地で、日本が世界に誇る物づくりの伝統と粋を、間近でご覧いただけます。